

会議等名	平成 31 年第 2 回海老名市外部評価委員会
日 時	平成 31 年 3 月 27 日 (水) 14 : 30 ~ 16 : 00
場 所	海老名市役所 3 階 政策審議室
出席者	外部評価委員：田中委員長、城向副委員長、大島副委員長、高橋委員、長谷川委員、山田委員、霜田委員、杉山委員、菅生委員、谷村委員、西海委員 (以上 11 名出席) 欠席：武井委員 事務局：川崎政策経営係長、國本
<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ 田中委員長</p> <p>3. 議題 (進行 田中委員長)</p> <p>(1) 行政評価調書・外部評価方法の課題検討について</p> <p>○配布資料及び (案) 行政評価調書について事務局から説明。</p> <p>(外部評価委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今の行政評価調書案では人件費の欄を削除したとのことだが、人件費の記載があれば事業規模がより分かりやすいので、人件費の欄は設けた方がよいのではないか。</li> <li>・ 人件費が分かると、事業の総コストが分かる。</li> <li>・ 細かい話ではあるが、字のポイントを統一し、記入欄に収めることを徹底すべきである。それだけでも調書の見やすさが違う。</li> <li>・ 調書を A 3 の見開き 1 枚にすると見やすいのではないか。</li> <li>・ これまでの具体的活動欄はなぜ削除しているのか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまであった具体的活動欄は、事業の結果について冗長的に書かれていたり、せっかく立てた指標に対するコメントがないものが多かった。そのため、具体的な活動というよりも、「指標に対する評価」と「指標化できない成果」の 2 つを書いてもらうことで、具体的な活動にかわりより評価の参考になるコメントを求めようと考えたものである。</li> </ul> <p>(外部評価委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査による指摘事項や陳情請願が出ているもの、議会の質問に挙げたこと住民要望があったものなどの情報があるのはどうか。市民ニーズの有無など、所管課からの情報だけでは分からない部分も分かるかもしれない。</li> </ul> <p>○他の自治体の調書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川崎市の調書 (資料 2) は、何の事業をやっていて、いくらかけられているかが分かりやすい。</li> <li>・ 川崎市の調書は、担当課が必要事項を記入するとそれだけで市民にも分かるよう</li> </ul>	

うな調書のつくりになっていると思う。

- ・ 分かりやすいと思うが、第三者が評価するには「D o」の部分の情報がさらに必要ではないか。
- ・ 町田市や堺市の調書は、情報量が多く少し分かりにくい。

#### ○ ヒアリングについて

(外部評価委員)

- ・ PDCAサイクルでいうC h e c kの部分がしっかり機能していないように思う。評価したものが活かされていないとなると外部評価を行っても意味がないのではないか。
- ・ 事業の理解を深めるために評価前のヒアリングは必要である。ただし、すべての事業をヒアリングすると時間もかかり所管課の負担もあるため、ヒアリング前に外部評価においてグループ作業を行い、どの事業についてヒアリングを行うかを定めることとする。
- ・ 平成 31 年度の外部評価について、施策評価をするものの事業が評価対象になっていないものがある。その事業についてはこれまでに評価をしたことがあるとのことであるが、外部評価委員も 3 グループに分かれて作業をしているため、過年度の評価を参考に情報提供していただきたい。

(事務局)

- ・ これまでの行政評価結果報告書は、市のホームページに掲載している。それを参考にさせていただくようお願いしたいが、評価年度と外部評価結果（評価及び評価コメント）を一覧資料としてお配りするようなイメージか。

(外部評価委員)

- ・ そのような資料でよいので、お願いしたい。

(外部評価委員)

- ・ 評価を次 (Action) につなげる仕組みがやはり必要である。Action につながっていないのであれば不利益があるとすれば強制力も生まれるかもしれないが、そのような方法はあまり取りたくない。そうであれば、評価のコメントを厳しめに書くななどにより、評価を生かすことを考えなければならない。

(事務局)

- ・ 評価後のヒアリングを行うか否かについて、事務局としては不要と考えているが、次回の外部評価委員会でもう一度検討する必要がある。なお、事務局としては、全庁的に評価結果はしっかりと受け止めており、評価結果を踏まえてそれ以降の取り組みを考えていると認識している。外部評価委員のみなさまには、その点をご承知おきいただきたい。

#### ○ 次回外部評価委員会の日程調整

(外部評価委員)

- ・ 5月17日～24日で周知されていたが、できれば、全体会とヒアリングの有無を検討するグループ作業を1日で行いたい。そのため、事務局には、その方向で資料や日程の調整をお願いしたい。

4. 次回日程  
未定

5. 閉 会

以 上